



【学校教育目標】 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.6

令和 6 年 8 月 26 日
京都市立東山泉小中学校
校長 岩田 智典



東山泉小中学校 夏休みも大活躍！

つなひき

7月27日、島津アリーナで第14回京都府小学生つなひき大会が開催され、5年生が参加しました。6年生チームも多く出場していた高学年の部で、トーナメントを勝ち上がり、見事4位となりました。3位決定戦では激闘の末敗れはしましたが、チーム一丸となり勝利を目指す一生懸命な姿は、見る人を感動させる試合でした。



8月4日、駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内競技場で全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会が開催され、6年生が参加しました。大会当日までに練習を積み重ね、選手権大会に出場しました。チーム一丸となり心をつにし、大きな声を出しながら力を合わせて綱を引く姿はとても素晴らしいかったです。

京都府吹奏楽コンクール

8月3日に京都コンサートホールで京都府吹奏楽コンクールが行われました。7～9年生合わせて、16名で「青のやまなみ」を演奏しました。9年生2名を中心にこれまでの練習の成果を発揮し、東山泉らしい素晴らしい音色を奏でることができました。



京都府下大会



7月27日、28日と京都市3位で通過した男子ハンドボール部が京都府大会に出場しました。予選トーナメントで東輝中学校に勝利し、決勝リーグへ進出。決勝リーグでは接戦の試合展開を繰り広げましたが、数点差での惜敗となりました。ベンチの8年生はコート上の9年生を見て、「9年生の戦っている姿、カッコいいなあ。」とつぶやいていました。

全国施設分離型義務教育学校の集い in 江府町

8月9日、鳥取県奥大山江府学園(5・4制施設分離型義務教育学校)にて上記の集いに校長が参加し、東山泉の発表をしてまいりました。江府学園は鳥取県の大山の麓にあり、サントリー天然水「奥大山」の産出地でもあります。神戸市、東大阪市、守口市など、近畿圏の教育委員会も参加され、施設分離型義務教育学校への大きな関心を示されていました。現在、施設分離型の義務教育学校は全国で12校ありますが、そのうち5・4制の学年区分を設けているのは鳥取県の2校と東山泉のみです。東山泉は開校11年目を迎え、成果と課題について発表させていただき、参加者の皆様からたくさんのご質問をいただきました。「今後、施設分離型の義務教育学校はたくさん増えてくる」と、講演していただいた鳥取大学名誉教授、本名俊正先生がおっしゃっていました。東山泉の取組が今後新たに創られる義務教育学校の可能性に役立つことを願っています。
※本校は施設分離型という名称ではなく、施設併用型と銘打っています。

